



まちづくりセンター
- 千軒舎 -
sengensha



旧内藤家住宅であるこの建物は、明治前期の建築と推定されています。
かつては「内藤修精堂」の屋号をもつ薬屋を営み、昭和初期からは歯科医院
を開業していました。
現在は、松山地区の町家の様子を伝える建物として一般公開されています。

松山地区とは

松山地区は、南北に延びる二本の
通りとそれを繋ぐ東西の筋で構成
され、通りに沿って「前川」と
呼ばれる水路が走り、そのせせら
ぎとともに独特な景観をつくり
出しています。
城下町から商家町へと発展し、
「松山千軒」・「宇陀千軒」とも
称されるほどにぎわっていました。
平成 18 年に重要伝統的建造
物群保存地区に選定されました。



【宇陀・松山地区までのアクセス】

<電車・バス>

近鉄大阪線榛原駅下車
奈良交通バス「大宇陀」行き約 15 分

<自動車>

名阪国道針インターから約 30 分
国道 369 号を宇陀市方面→国道 370 号→国道 166 号
南阪奈道路 葛城インターから約 40 分
→国道 165 号→国道 166 号

<お問い合わせ>

- ・ 松山地区まちづくりセンター「千軒舎」 TEL：0745-87-2274
- ・ 宇陀市教育委員会事務局文化財課 TEL：0745-82-3976

重伝建 宇陀松山地区

奈良県宇陀市



散策マップ

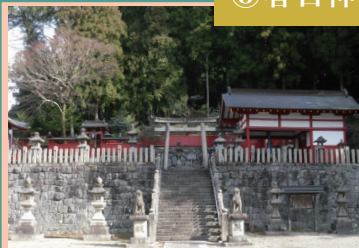
宇陀松山重要伝統的建造物群保存地区

①国史跡 松山西口関門（黒門）



城下町への出入口としておよそ400年前に建築された門で、昭和6年（1931）に国の史跡に指定されました。壁以外が黒く塗られていることから、町の人からは「黒門」と呼ばれ親しまれています。

③春日神社



当社の創建については不明。宇陀郡内には興福寺管領の春日社領が多く存在し、当社地も中世の春日庄に位置することから、奈良春日社を勧進したものと考えられます。また、宇陀松山城を描いた「阿紀山城図」には「春日社」として記され、城郭の郭としての機能を併せ持っていたことが分かります。

⑤県指定文化財 山邊家住宅（主屋）



山邊家住宅は、天明5年（1785）の建築で、松山地区内で最も古い町家です。主屋（県指定文化財）・門塀・蔵が通りに面して建ち、大規模な屋敷構えを見ることができます。江戸期は「宇陀紙」中買商の惣代であり、「山邊長助」の名を世襲し、藩札の原板や宿札などの文書史料が多数残っています。（非公開）

②恵比寿神社



松山城下町の大手筋の起点に位置している。恵比寿神社・愛宕神社ともに創建の時期については不明。天和2年（1682）に描かれた松山町の古図に愛宕神社の社地が記されていることから、織田家宇陀松山藩の時代に勧進されたと考えられている。毎年2月11日に「宇陀の初市」が催され、賑わっている。

④市指定文化財 旧細川家住宅



旧細川家の住宅であるこの建物は、間口8間半を測る大型の町家で、江戸時代末期の建築と考えられます。通りに面して掲げられている、家業である薬問屋を表す「天寿丸・人参五臓圓」と書かれた凝った意匠の銅板葺唐破風付看板が大きな特徴です。現在、宇陀市歴史文化館「薬の館」として市が管理・公開しています。

⑥まちかどラボ



松山地区内と史跡宇陀松山城への入口に建つ観光案内の拠点として、令和3年にオープンしました。松山地区や、宇陀松山城跡に関するご案内などを行っております。開館時間：9時～17時
休館日：年末年始（12月29日～翌年1月4日）

①国史跡 松山西口関門（黒門）

⑧光明寺



大宇陀小学校

宇陀高等学校（大宇陀学舎）

水X
交番

166

阿騎野・人麻呂公園

②恵比寿神社

⑦万法寺

宇陀高等学舎

裁判所

水の分かれ

⑪国史跡 森野旧薬園

⑫宇陀松山会館 （旧松山町役場）

大宇陀中学校

道の駅
宇陀路大宇陀

大願寺

郵便局

文化会館

一本松跡地

慶恩寺

春日門跡

長隆寺

まちづくりセンター（千軒舎）

⑥まちかどラボ

佐多神社

⑧県指定文化財 光明寺（山門）



光明寺は融通念仏宗の寺院で、本堂・山門の他に小堂・書院・鐘楼があり、整った寺観を見せています。県指定文化財の山門は、一間一戸楼門・入母屋造・檜皮葺、上層に梵鐘を吊る優美な鐘楼門です。梵鐘に寛文13年（1673）の刻銘があり、慶安から寛文までの間に建築されたと考えられます。

⑩神楽岡神社



「附山」の麓に社地を構える神楽岡神社は、松山地区の中央付近、上新に位置しています。創建は不明ですが、文禄3年（1594）写しの「阿紀山城図」には、松山町内に「神楽岡社」の書き込みが確認できます。境内には万葉歌碑と江戸末期の石工、丹波佐吉作の狛犬阿形（但州竹田産作師照信の銘）があります。

⑫宇陀松山会館 （旧松山町役場）



旧松山町役場の建物で、棟札から明治36年（1903）の建築であることが判っています。入母屋造・平屋建・棧瓦葺・平入の建物で、正面中央に切妻造の玄関が張り出しています。建物背後の宇陀川との間に段差があり、懸造となっているのが大きな特徴です。

⑦県指定文化財 万法寺（本堂）



万法寺は浄土真宗本願寺派の寺院で、寺伝では天正13年（1585）に創立されました。本堂は承応2年（1653）の建立と考えられ、県指定文化財となっています。入母屋造・本瓦葺の建物で真宗本堂としては古式の形式が残っています。表構えとして山門（薬医門／嘉永元年（1848）建立）・鼓樓・長屋門が並んでいます。

⑨法正寺



法正寺は曹洞宗の寺院で、延徳元年（1489）に創建されました。山門（薬医門／嘉永6年（1853））を抜けると江戸末期建立の本堂が迎えます。織田家宇陀松山藩時代、織田家の信仰を得ていたとされています。ドラマ「水戸黄門」で有名な「助さん」のモデルとされる「佐々介三郎」の父・佐々直尚の墓所が現存しています。

⑪国史跡 森野旧薬園



森野旧薬園は、現存するわが国最古の私設薬園です。享保14年（1729）、初代森野藤助が幕府御薬草御用植村左平次の薬草見習いとして出仕した功績により幕府から下付された貴重な種苗を自宅背後の台地上に栽培したのが薬園の始まりとされています。大正15年（1926）に国史跡に指定されており、現在も約200種類の薬草が栽培されています。